

平成27年度 中間自己評価

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
1. 地域の教育力の向上（地域連携事業の推進） ①小中学校等との協働事業を推進する ②地域の小中学校と生徒間交流を図る ③地域を教材とした探究的・体験的学習活動を行う	・教育力向上推進事業（協議会、研究授業）	・協議会や研究授業、公開授業によって、地域の教育力の向上に貢献できたと考える教員の割合 A 70%以上 B 50%以上 C 30%以上 D 30%未満	<u>64% B</u>	成果：本校の45名の教員が輪島中学校の授業を参観し、中学校からも26名の教員が本校の授業を参観したことにより、中高の授業の状況や生徒状況について理解を深めた。 課題：授業を参観することにとどまっておらず、中高個々の教員の指導力向上に繋がっていないこと。 改善策：①中高共通の研究テーマを設定し、研究授業を本校で実施する。 ②中高教員による研究協議会を通じて、地域の教育力向上に努める。
	・科学実験（小学校）、学習交流会（中学校）	・学習交流やイベント参加生徒のうち、地域に貢献でき、自分も成長できたと感じた生徒の割合 A 70%以上 B 50%以上 C 30%以上 D 30%未満	<u>76% A</u>	成果：地域ボランティア等に参加した生徒は、地域貢献意識を高めた。特に、中学生との学習交流会やキャリア教育講演会、小学生への挨拶指導に参加した生徒は、「教える」という体験を通して、地域貢献意識を高め、達成感を得た。 課題：より多くの生徒に、地域貢献を通じて自己を成長させる機会を提供すること。 改善策：①学習交流等の機会を増やして、より多くの生徒に参加を促す。 ②生徒の成長に繋がるよう、交流事業の質の改善を図る。
	・講演会、実践的英語講座、朝市出店販売等	・積極的に地域と関わり、地域への理解を深めることができた A できた B ある程度できた C あまりできなかった D できなかった	A 21% B 51% <u>A+B 72%</u>	成果：地域学習やインターンシップ、朝市販売実習を通して、生徒の地域理解が深まった。 課題：生徒が、地域の課題やその解決策について、より深く探究しようとする意識を高めること。 改善策：①ポスターセッション実施後のレポート提出等、事後指導を充実させる。 ②生徒の取り組み方がより主体的となるよう、指導計画を充実させる。

平成27年度 中間自己評価

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
<p>2: 学習意欲と深い思考力の向上（アクティブラーニングの推進）</p> <p>①個に応じた学習指導の充実と発展的学力を養成する</p> <p>②ICTを活用した授業改善を行う</p> <p>③生徒の協働（協調）学習を取入れた授業改善を行う</p>	<p>・習熟度別指導</p> <p>・発展学習講座</p> <p>・学年別学習会</p> <p>・ICT環境の整備と指導法の研究</p> <p>・生徒の能動的な学習を支援する指導法の研究</p>	<p>・思考力、判断力、表現力が向上したと考える生徒の割合が</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 60%以上</p> <p>C 50%以上</p> <p>D 50%未満</p> <p>・ICT機器を活用した授業により、学習意欲が高まった生徒の割合が</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 60%以上</p> <p>C 50%以上</p> <p>D 50%未満</p> <p>・授業改善により、学習指導のスキルが高まったとする教員の割合が</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 60%以上</p> <p>C 50%以上</p> <p>D 50%未満</p>	<p>普通科 83%</p> <p>総合学科 75%</p> <p>全体 <u>79% B</u></p> <p><u>70% B</u></p> <p><u>71% B</u></p>	<p>成果：「生徒による授業評価」では、生徒は、習熟度別授業により概ね思考力、判断力、表現力が向上したと考えている。特に、「国語」「外国語」の評価が高い。（85%以上）</p> <p>課題：自ら思考力を深めようとする学習意欲を持った生徒を育成すること。</p> <p>改善策：①各学年で週末の学習会を企画し、生徒に参加を呼びかける。 ②週末課題として、習熟度別学習課題を提供する。</p> <p>成果：プロジェクトが普通教室に配置されたことで、積極的にICT機器を活用する教員が増え、生徒の学習意欲が高まった。</p> <p>課題：ICT機器を活用した指導法については、まだ研究途上であり、試行錯誤の段階であること。</p> <p>改善策：①先進校で行われたICT活用実践例等を参考に、ICT活用推進担当者を中心に授業実践と校内研修を進める。 ②今年度のICT利活用例をまとめ、次年度の授業改善に活かす。</p> <p>成果：授業にペアワークやグループ学習を導入する等、授業改善に努める教員が増加した。</p> <p>課題：生徒が活動するだけでなく、より思考力を深めるアクティブラーニングを実践できる指導スキルを身につけること。</p> <p>改善策：①校内研修によって、効果的なアクティブラーニング型の指導法について理解を深める。 ②各教員が、授業改善計画に基づいた授業実践を進める。</p>

平成27年度 中間自己評価

石川県立輪島高等学校

重点目標	具体的取組	実現状況の達成度判断基準	判定基準	成果・課題・改善策
<p>3 人間力の育成 (普通科・総合学科の特性の伸張と協働)</p> <p>①3年間を見通した組織的な教科指導と進路指導を実践する</p> <p>②生徒の主体的・能動的な活動により学校行事を活性化する</p> <p>③両科生徒が両科の行事へ相互に参加する</p>	<p>・3年間を見通した指導体制の確立</p>	<p>・入学当初の模試より模試成績を向上させた生徒が</p> <p>A 80%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p> <p>・第1志望の内定率が</p> <p>A 80%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満</p>		<p>成果： 10月模試の結果で判断</p> <p>課題：</p> <p>改善策：</p> <p>成果： 就職状況確定後判断</p> <p>課題：</p> <p>改善策：</p>
	<p>・生徒の主体的、能動的活動を支援</p>	<p>・自分はTPOに応じて、適切な挨拶が</p> <p>A できている B ある程度できている C あまりできない D できない</p>	<p>A 29% B 63%</p> <p><u>A+B 92%</u></p>	<p>成果：9割以上の生徒が、「概ね」挨拶ができていると自己評価している。</p> <p>課題：完成度の高い、「適切な」挨拶ができる生徒を増やすこと。</p> <p>改善策：①授業中や休憩時間、学校行事や部活動等、学校生活全般を通じて指導する。 ②積極的に生徒に声かけをして、適切に評価することで、生徒に積極性を持たせる。</p>
	<p>・両科の特色ある取組へ相互に参加</p>	<p>・両科の生徒が協働して行事に取り組み互いを高め合うことが</p> <p>A できた B ある程度できた C あまりできなかった D できなかった</p>	<p>A 21% B 53%</p> <p><u>A+B 74%</u></p>	<p>成果：全校生徒による挨拶練習、チャレンジウォークや学校祭等、両学科の生徒が協働して、学校行事の企画・運営にあたった。また、総合学科の取組である朝市インターンシップに、普通科生徒が参加した。</p> <p>課題：両科生徒が切磋琢磨し、自己を成長させる機会を増やすこと。</p> <p>改善策：①普通科の学習会に併せて、総合学科の補習を企画する。 ②両科各々の取組とその成果の広報に努め、生徒の意欲を向上させる。</p>